

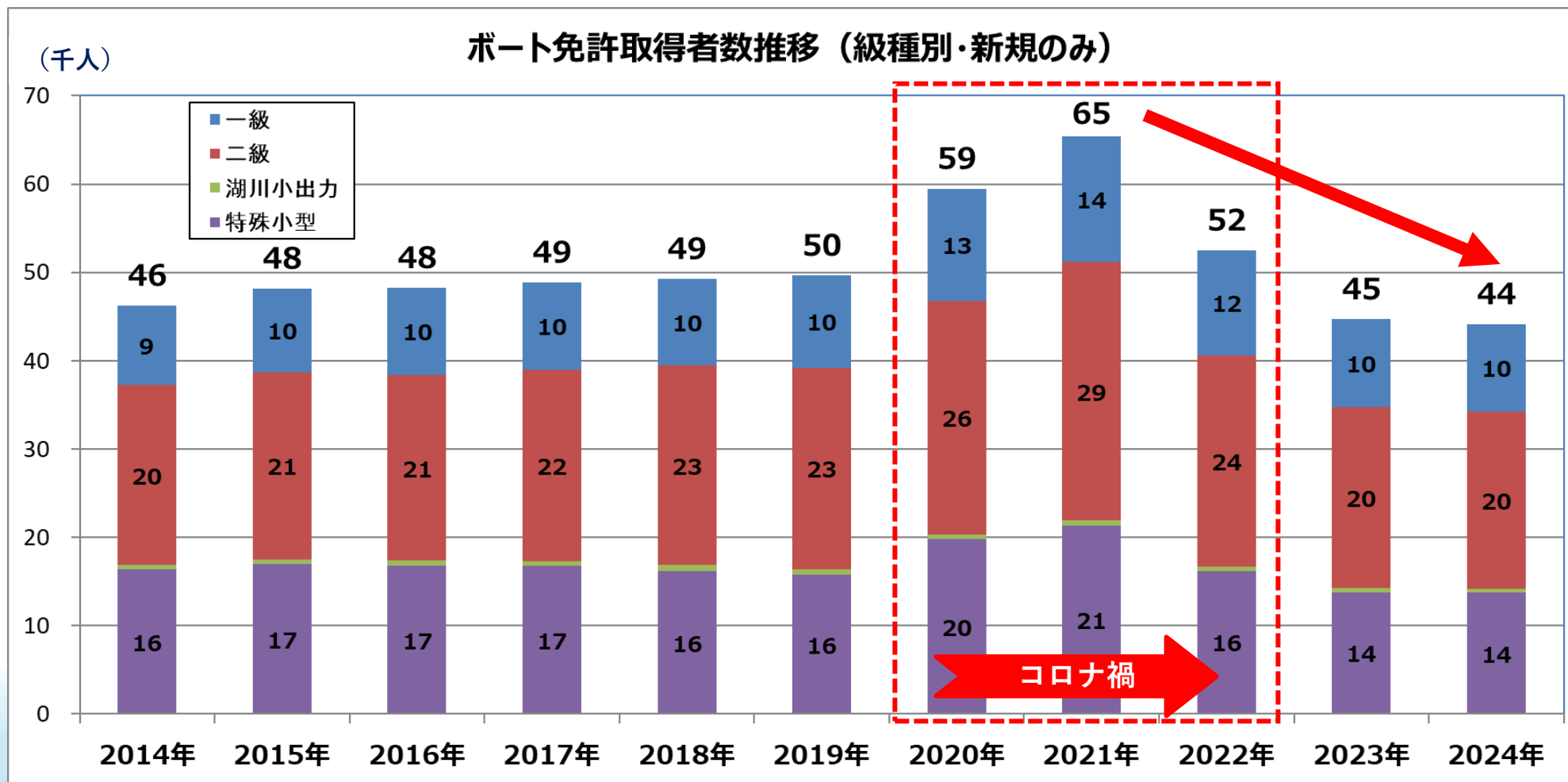
# 令和6年 マリン業界の市場動向

令和7年3月  
一般社団法人 日本マリン事業協会

# 新規ボート免許取得者 年別推移

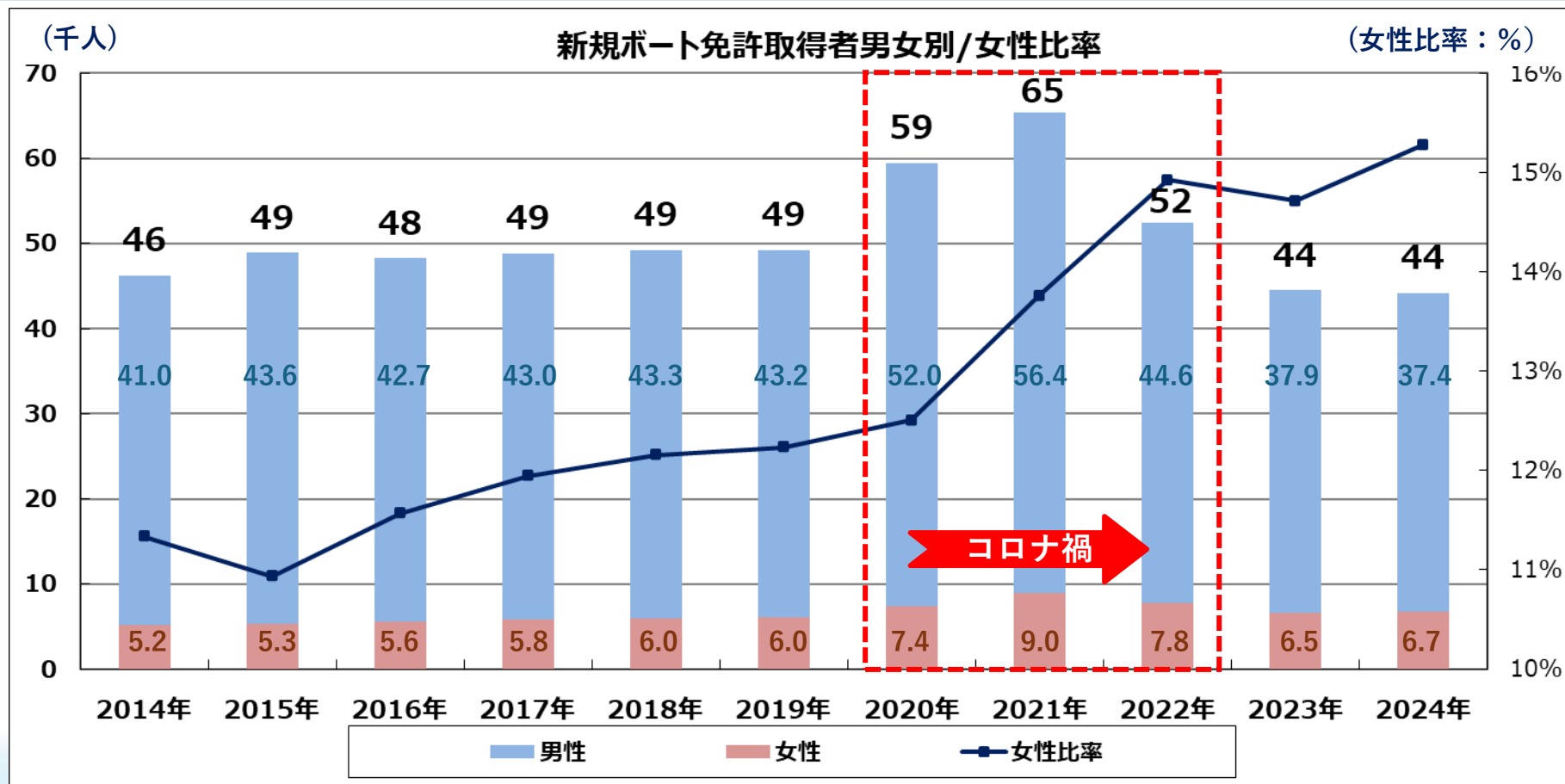
新規ボート免許取得者はコロナ以降減少傾向・過去10年で一番の落ち込み

コロナ禍、密を避けられるアウトドアとして“海で遊ぶ”が人気も2021年がピーク、65千人まで上昇しその後減少、下げ止まり感はあるもののコロナ禍前よりも減少し厳しい状況



# 新規ボート免許取得者 男女別取得者推移

免許取得者数は2021年以後減少しているが、女性の取得比率は年々増加傾向  
10年前の2024年比較で女性取得者数は28%アップ  
男女比率における女性の比率も年々上昇

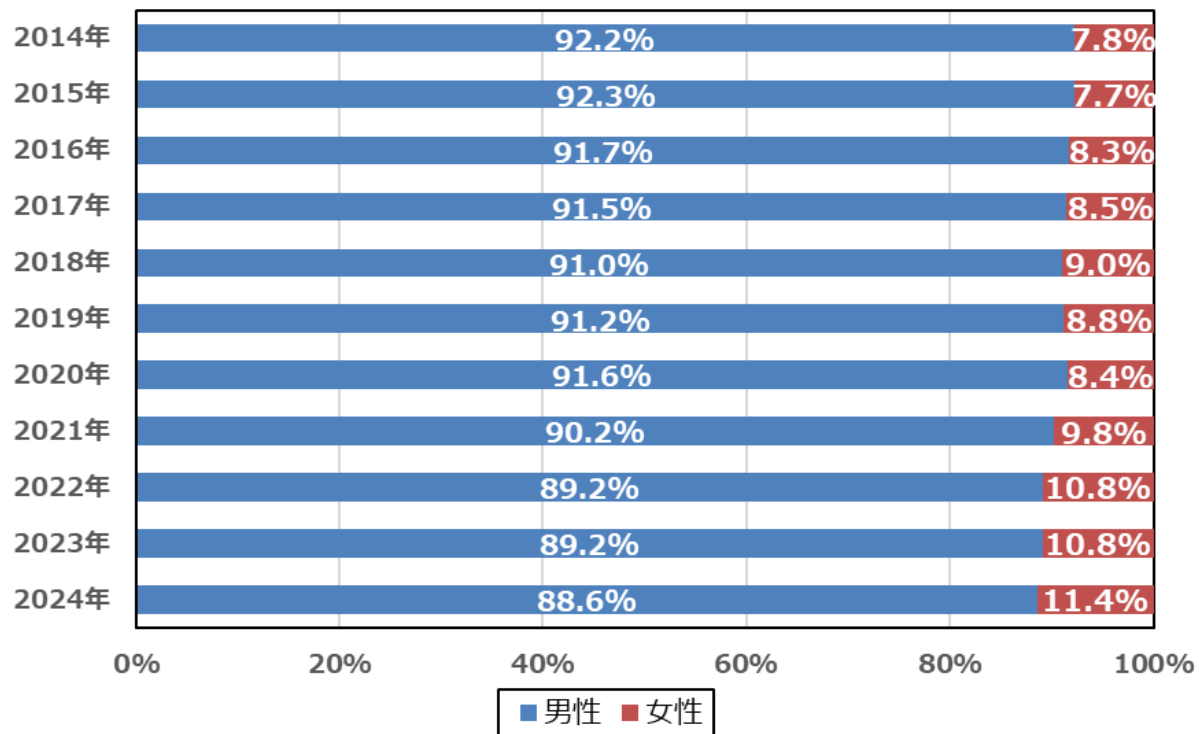


\* 出典：(一財)日本海洋レジャー安全・振興協会

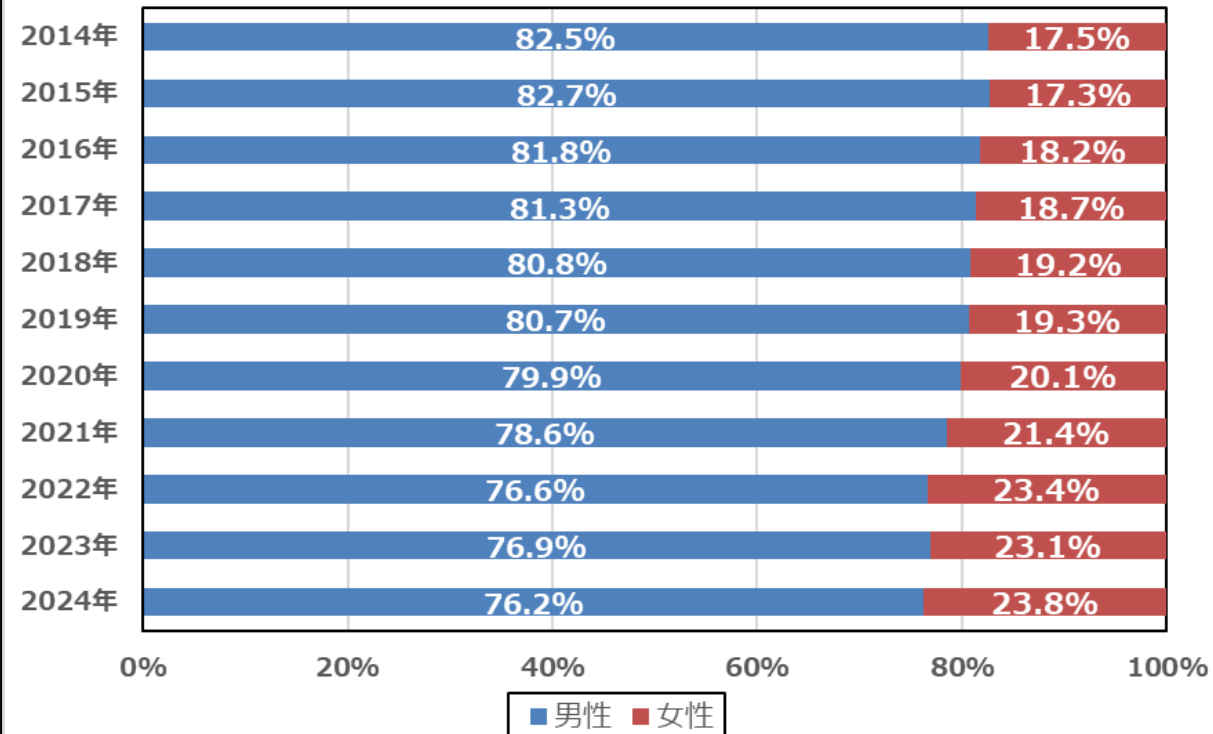
# 新規ボート免許取得者 級別男女比率推移

- ・ 2級ボート免許取得者の男女比率は、10年前より約4%増加。
- ・ 特殊小型(水上オートバイ)免許取得者の男女比率は10年前(2014年)より約6%増加。
- ・ 4人に一人が女性。

### 2級免許取得者 年別男女比率



### 特殊小型免許取得者 年別男女比率

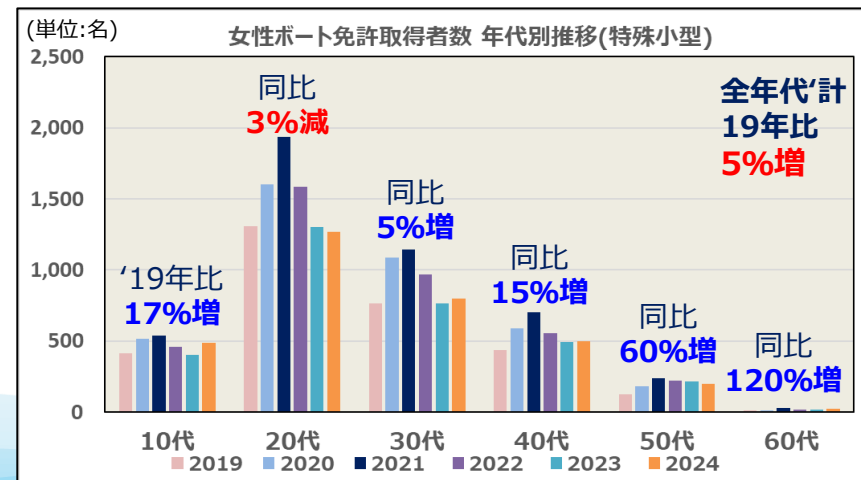
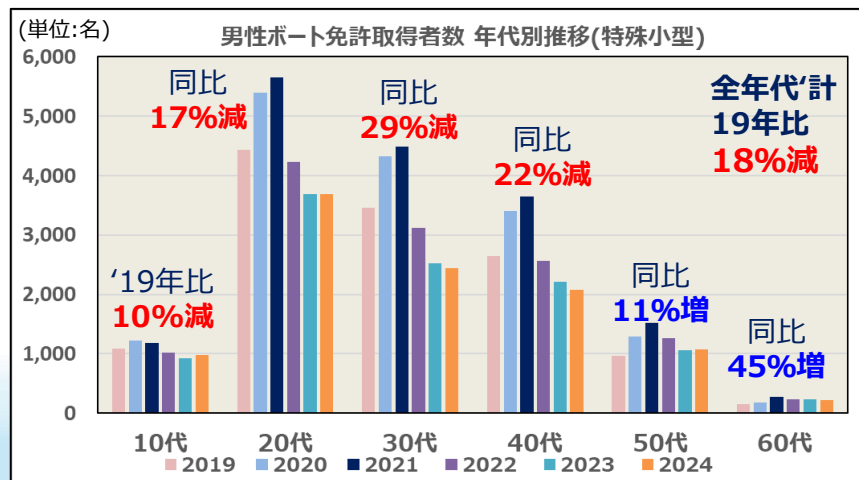
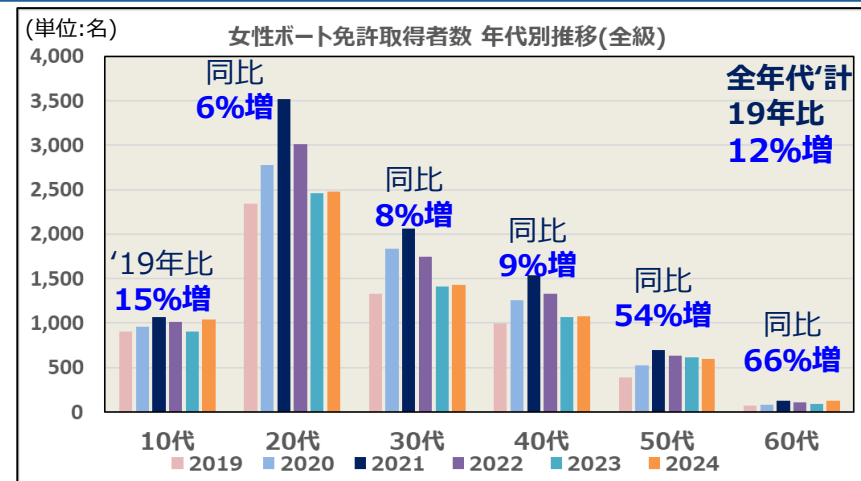
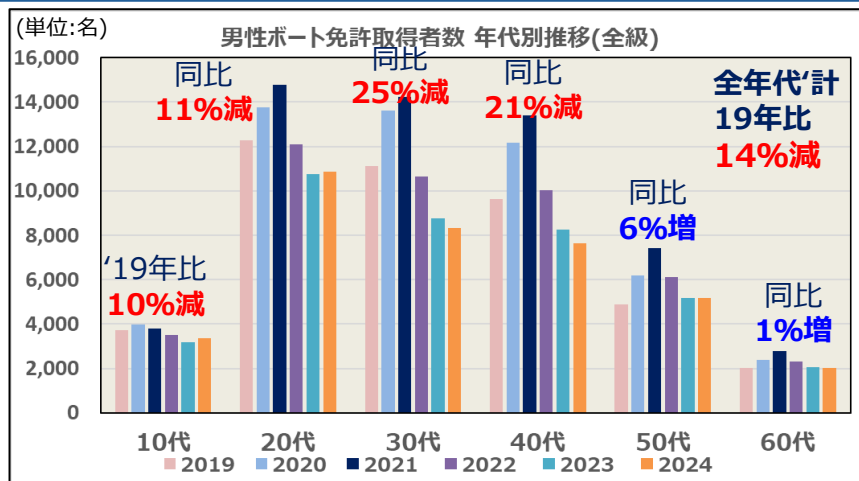


# ボート免許取得者 年代・男女別推移

新規ボート免許取得者は女性がコロナ前と比較して増加。男性は減少傾向続く

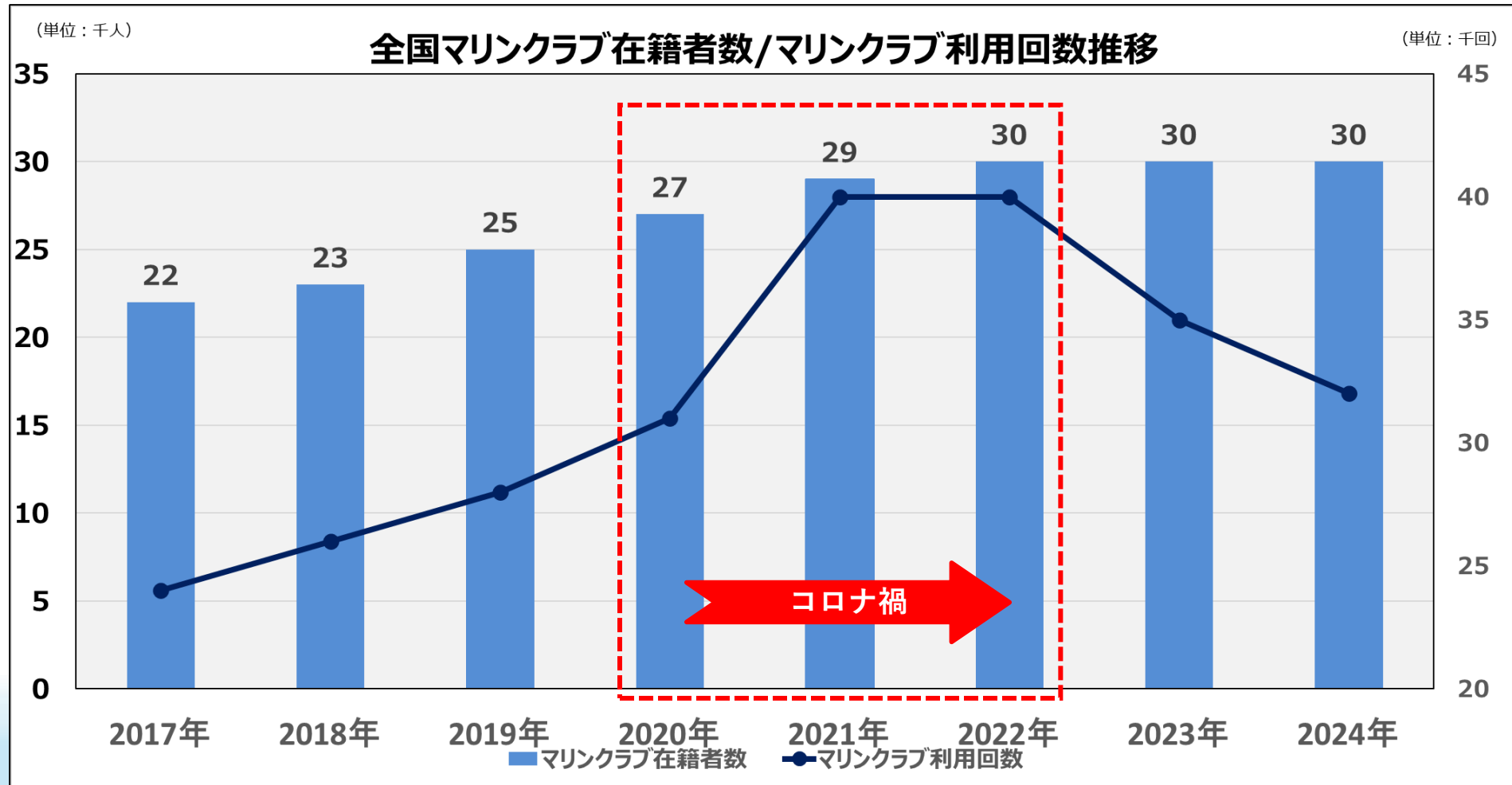
コロナ禍の需要増を除き、コロナ前である19年と比較すると女性はほぼ前年代で増加。

特に高齢者が増加傾向。男性も50代以上で上回るものの40代以下は大きく減少し全体でも下降。



シェアリング需要規模はコロナ以降横ばい。但し利用回数は減少

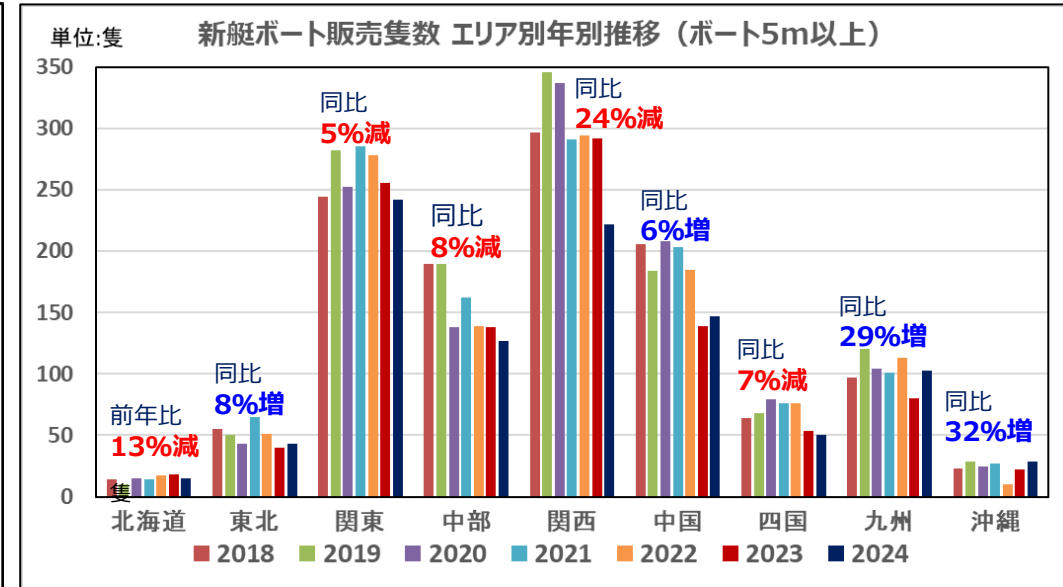
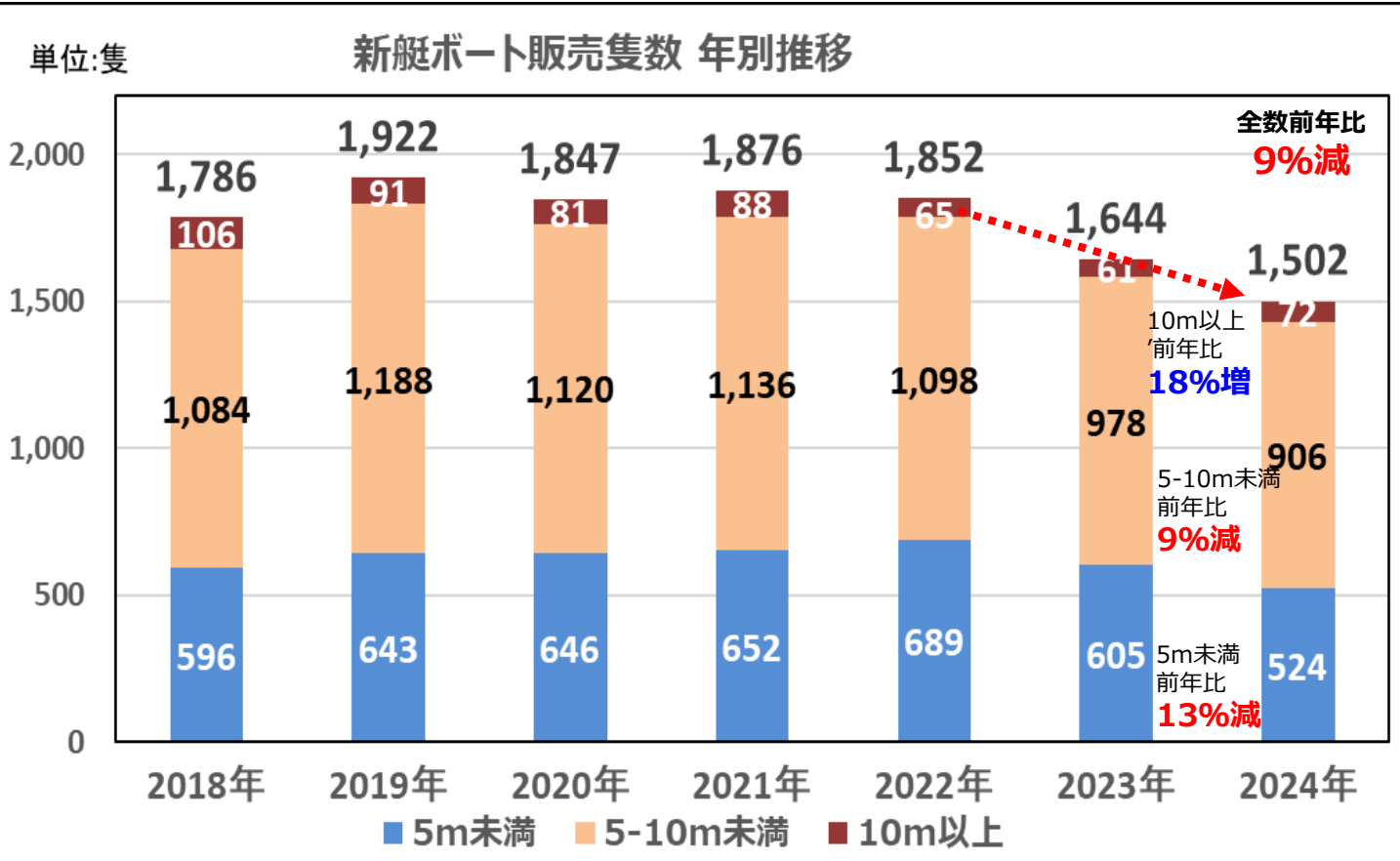
シェアリングにおけるマリンクラブ(レンタルボートクラブ)の在籍者数は21年に大きく伸長後横ばい。  
利用回数はレジャー多様化の中、23年以降減少傾向



# ボート販売規模 年別推移

ボートの販売規模はコロナ後の22年から減少傾向

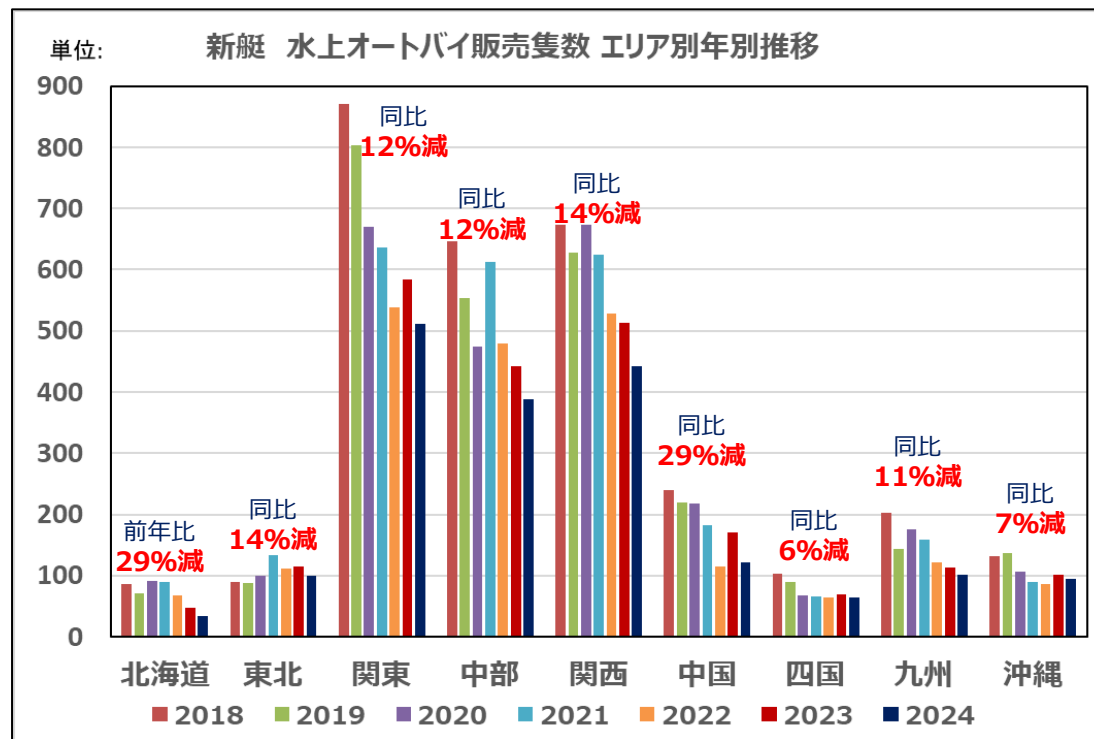
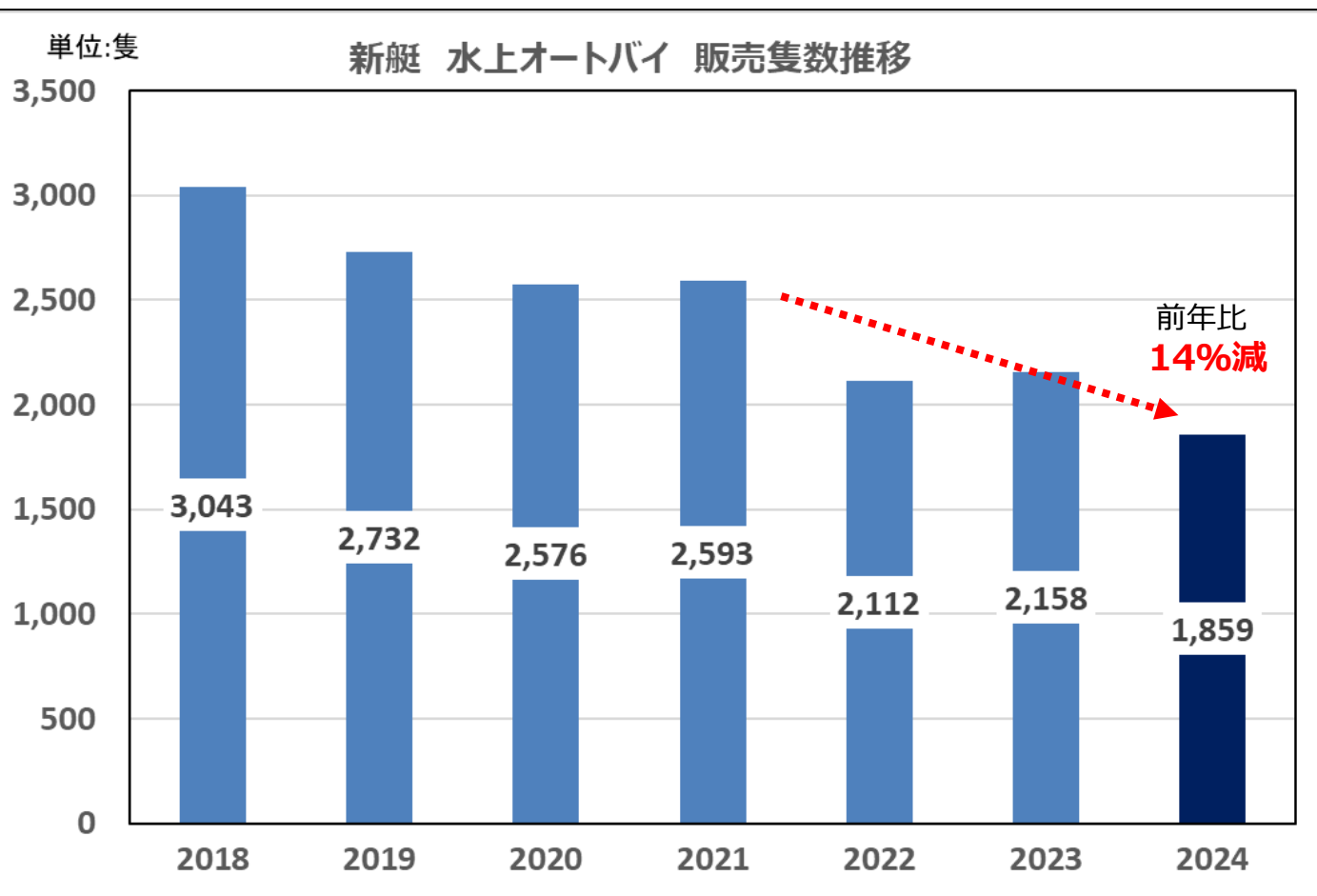
ボートの隻数販売規模は19年以降 部品供給問題や価格改定等で伸び悩み、23年以降減少傾向。  
エリア別の販売規模は関西で大きく減少、九州・沖縄は増加。



データ出典: 日本小型船舶検査機構 第1回定期検査数

# 水上オートバイ販売規模 年別推移

水上オートバイの販売規模は21年の明石の水上オートバイ事故以降、減少傾向  
水上オートバイの隻数販売規模は国内出荷枠の調整・明石の水上オートバイ事故などの影響を受け減少傾向。  
エリア別の販売規模も全エリアで減少。



データ出典:日本小型船舶検査機構 第1回定期検査数





## 国内市場は2022年296億円をピークに減少傾向

国内出荷金額：約272億円（前年比95%）

モーターボート 187億円 前年比95% 船外機 47億円 前年比95% 水上オートバイ(PWC)38億円 前年比95%

船外機



水上オートバイ(PWC)

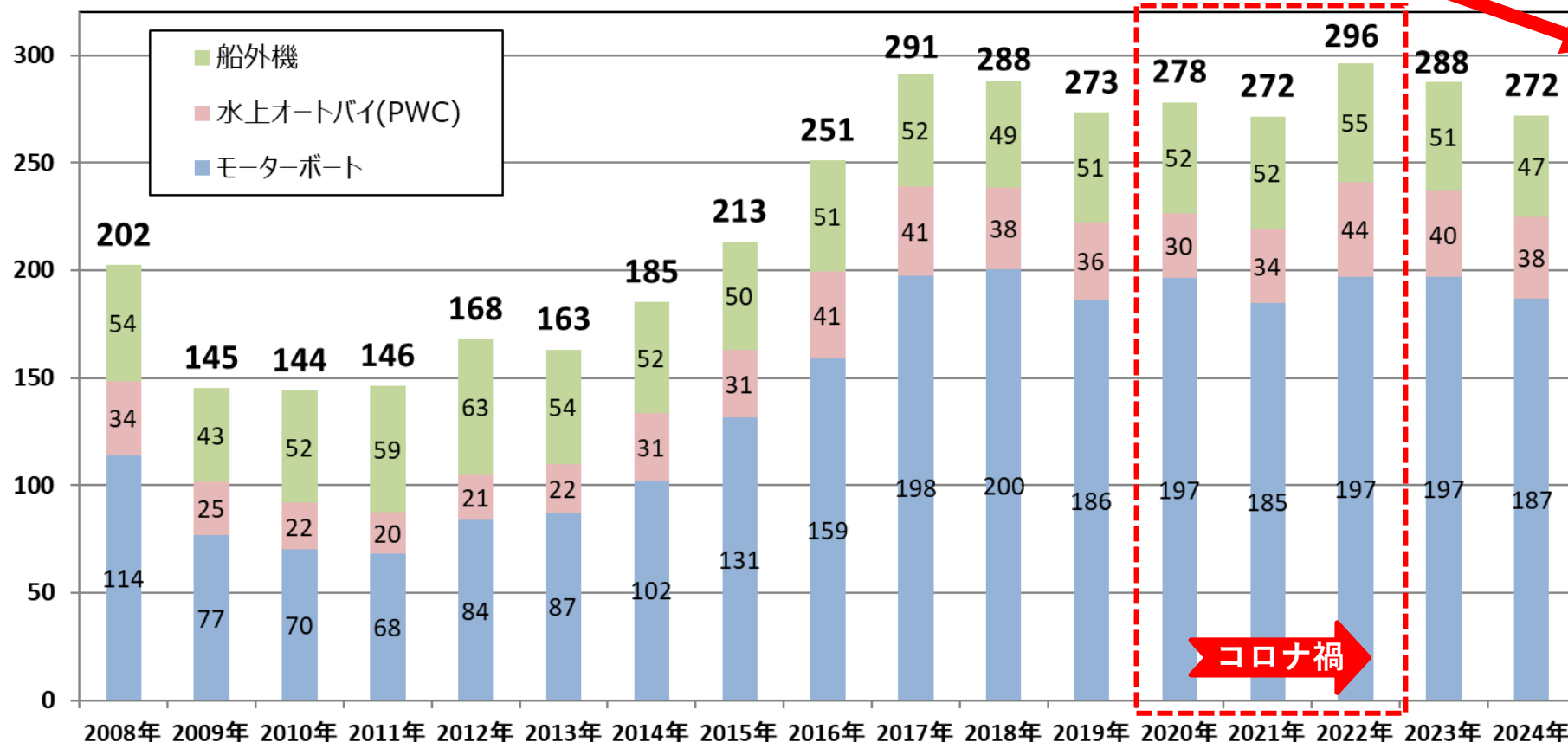


モーターボート



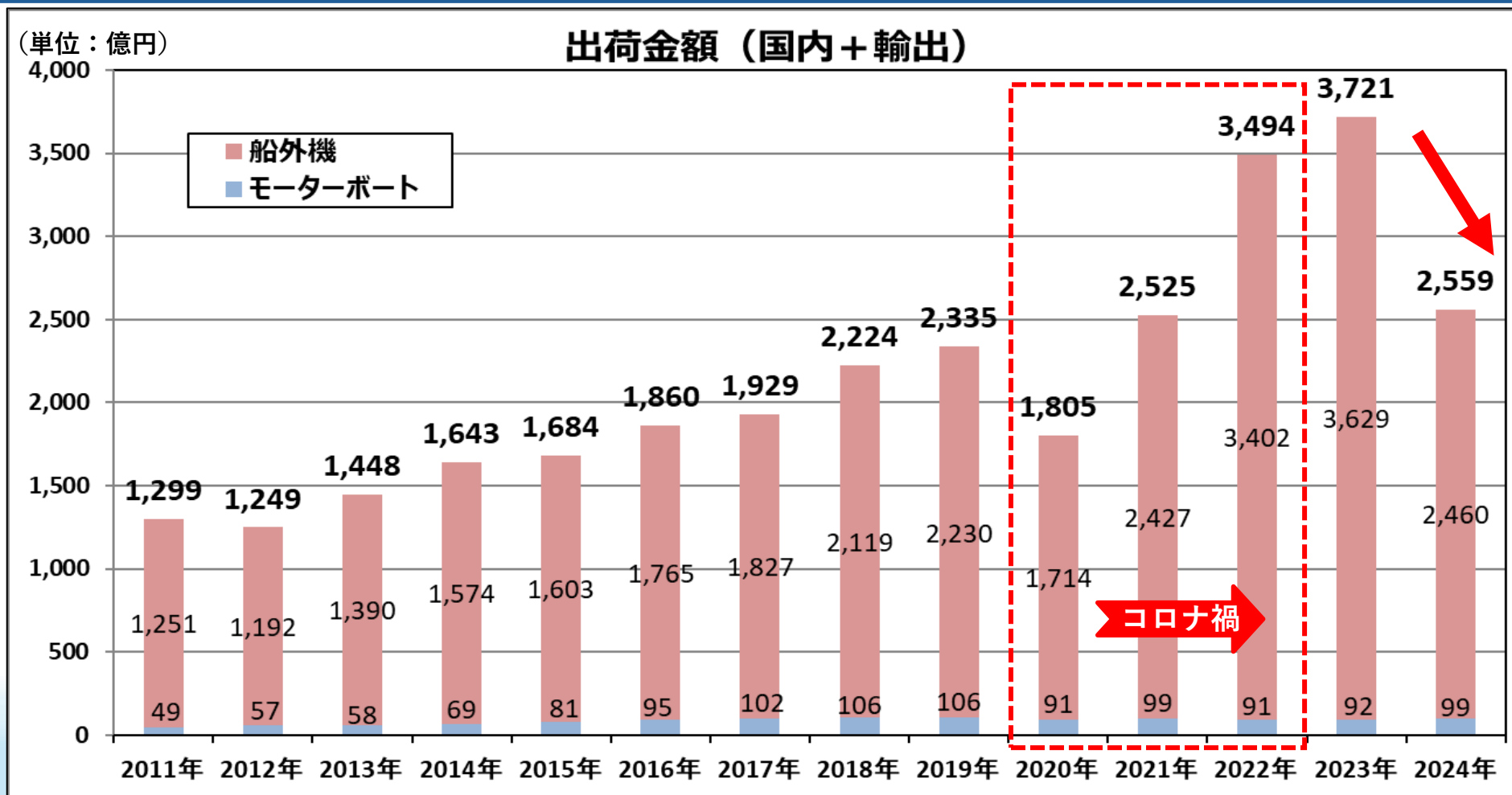
(単位：億円)

### 国内市場規模（国内+輸入）



## 国内メーカーの出荷金額規模は海外の市場減速を受け大きく減少

国内メーカー出荷金額：約2,559億円（前年比69%）  
モーターボート 99億円 前年比107% 船外機 2,460億円 前年比68%



# プレジャーボートの保有隻数

国内のプレジャーボート保有隻数は2000年ピーク時の1/2まで減少  
毎年4-5千隻の減少

